

## ☆女性技術者ネットワーク 開催報告☆ 開催日 2024年 12月 6日

男女共同参画委員会では、「女性技術者ネットワーク」という女性技術者・研究者・学生のネットワーク作りを目的とした会合を定期的に開催しています。今年度は、2024年12月6日（金）18：30から化学工学会会議室／オンラインにてハイブリッド開催致しました。前年度に引き続きハイブリッドでの開催となりましたが、対面・オンラインともに多数の方にご参加いただきました（参加者：対面17名、オンライン20名）。また学会からは男女共同参画委員会の方だけでなく、華房理事や沖理事にもご参加いただけました。

はじめに、三菱ケミカル(株)アドバンスソリューションズ統括本部 ウェルネス技術部 フード&ヘルスケアグループの長谷川実穂氏から「複数部署を経て感じた女性技術者のキャリア」とのタイトルでのご講演がありました。まず大学をご卒業後、新入社員として配属された職場とその後経験された2つの職場について、それらを比較しながらのお話がありました。同じ会社の中でも職場の環境は様々であり、女性技術者の働きやすさは、女性の数、業務内容、業務環境や勤務地などにより大きく変わるというご説明がありました。また年月が経つにつれてテレワークや勤務地希望制度などさまざまな取り組みが始まり、女性を取り巻く状況も徐々に変化していったとのことでした。男女を比較しての違いとして感じるのは主に精神面の差であり、女性にとっては「たわいもない会話ができないことによる孤独感」や「男性中心の職場での意見の挙げにくさ」がハードルになるとのお話でした。さらに女性が仕事を続けていく場合、結婚・出産・育児などのライフイベントの影響が男性に比べて大きく、年齢的な制約から修士卒の場合は入社後2～3年後には、それらをシビアに意識することを余儀なくされ、このことが特に地方勤務の女性技術者の離職や異動の原因となっているとお話は大変考えさせられました。続いてご講演の後半では、社内で30名程度の女性技術者の方にアンケートを取って、出された様々なご意見の紹介がありました。なかなか普段は窺い知れないような、正に今企業で勤務されている女性技術者の本音が分かる内容でした。お話を聞いていて、仕事の環境や制度など大きく変化した部分と、数十年前からほとんど変化していない根深い意識のギャップの両方が感じられ、非常に参考になると共に、所々でドキリとさせられる興味深いご講演でした。

次に、金沢大学人間社会研究域地域創造学系准教授の一方井祐子先生に、「日本における理工系進学とジェンダーギャップ」と題するオンラインでのご講演をいただきました。理工系に進学する女性が少ない現状に関してデータを用いてご説明いただいた後、無意識の思い込み(アンコンシャスバイアス)や偏見が、理工系分野への女性の進学を躊躇させる原因になっているのでは、とのお話がありました。STEM(Science, Technology, Engineering and Mathematics)分野の女性の割合が、日本は諸外国と比べて少ないのにも関わらず、「STEM分野を目指す女子学生に対する偏見がある」とした日本人の割合がグローバル平均より低いというデータがあることについて、偏見が本当でないのか？気づいていないだけなのか？という興味深い問題提起もなされました。各々の学問分野に対する性別のイメージというものは、我々の中にすり込まれてしまっているというデータもあり、ずっとかけているとかけていることを忘れてしまうメガネに例えて、無意識の思い込みについてのわかりやすいご説明をいただきました。質疑応答も大変活発に行われ、性別による違いについての質問に対しては、性別よりも環境や文化のほうが大きな影響を与えるのではないかと、ご説明がありました。また、機会の平等(公正)の重要性を認識していてもその判断(さじ加減)が難しいと感じられることもあるが、皆で様々な情報を共有し、腹を割って議論できる環境を作ることが重要とお話が印象的でした。

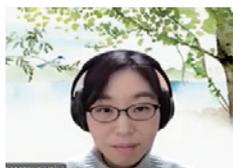
講演会の後は、オンラインと会議室に分かれて交流会を行いました。会議室では、講師の長谷川氏をはじめ、対面参加された若手・ベテラン世代や大学・企業の職種を超えた活発な交流となり、参加者の方からも大変好評をいただきました。また話が盛り上がったところで時間が超過となり、最後はやや名残惜しい幕切れとなりました。

一方オンライン交流会には、企業の方9名、大学教員3名、大学院生1名が参加しました。一方井先生にもご参加いただき、女性の働きやすい仕事環境とはどのようなものか、という議論を深めました。その中で、上司の理解がやはり大事との意見とともに、同僚からのマイクロアグレッション(無意識の偏見や差別による無自覚な言動や態度が、他の人を傷つけること)についても言及され、無意識の思い込みの積み重ねがジェンダーギャップ社会につながっていることが改めて感じられました。一方で、これから進路選択をする大学院生に対し、企業・大学両方の立場からの助言があり、次世代を担う女性へエールを送ることができました。

(化学工学会 三谷 誠, 茨城大学 山内紀子)



講演者の長谷川氏



講演者の一方井先生



本部会議室での交流会